

事業番号	05 06 01	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	資源循環システム構築事業費			担当課	部局	環境部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	廃棄物対策課	
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり		E-mail	haikibut@pref.nagano.lg.jp	
		2 循環型社会の形成		実施期間	S46 ~	

1 事業の概要

目指す姿	循環型社会の形成を推進するために、廃棄物の排出を抑制し、環境にやさしいライフスタイルを推進する。 成果目標：1人1日あたり一般廃棄物排出量 862g(H22) → 800g(H29) ：産業廃棄物総排出量 3,709千t(H20) → 3,600千t(H29)	
現状	・廃棄物の排出抑制に向け、レジ袋削減事業については、今までの啓発事業から、無料配布中止を含めた多様なアプローチによるレジ袋の総使用量の削減に取り組んでいる。また、食べ残しの削減のための協力店の募集や、産業廃棄物の排出抑制に向けたフォーラムを開催し、県民・事業者等への啓発を行っている。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 都道府県は、市町村に対し必要な技術的援助を与えること。 国、都道府県及び市町村は、国民及び事業者の意識の啓発を図るよう努めなければならない。【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】

事業内容	① 成果目標(H24)						
	○ マイバッグ等持参率：60.0%(H24末)						
	② 事業内容 (単位：千円)						
	項目	実施方法	H24事業実績		H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	「レジ袋削減県民スクラム運動」推進事業	直接委託	・レジ袋削減県民運動推進キャンペーン事業 ・レジ袋無料配布中止に向けた協議実施		2,728	10,560	1,757
	「食べ残しを減らそう県民運動」推進事業	直接	・食べ残しを減らそう協力店の募集・登録 ・宴会食べきりキャンペーンの実施		138	138	120
	食品リサイクルループ構築事業		(H25新規事業)		0	0	61
	産業廃棄物3Rサポート事業	直接	・産廃3Rフォーラムの開催 ・産業廃棄物3Rアドバイザー派遣事業の実施		403	303	403
	リサイクル製品利用促進事業	直接	・リサイクル製品利用促進の普及啓発		80	80	0
	きれいな信州環境美化運動推進事業	負担金	・関東甲信越静環境活動推進連絡協議会への負担金		100	75	75
循環型社会形成推進功労者表彰	直接	・循環型社会形成推進知事表彰の実施		60	60	60	
自動車リサイクル法に基づく更新事務	直接	・自動車リサイクル法に基づく申請の審査		185	144	25	
第一種フロン類回収事業者の登録更新事務	直接	・フロン回収破壊法に基づく申請の審査		38	21	11	
事務経費(経常)	直接	・消耗品、コピー使用料等		380	169	414	
合計				4,112	11,550	2,926	

事業コスト	区分(単位：千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
	当初予算	1,473	1,538	4,112	2,926			目標	成果	達成状況	
	補正予算	3,926	0	8,528		マイバッグ等持参率	52.3%	60.0%	60.3%	達成	67.0%
	合計(A)	5,399	1,538	12,640	2,926						
	国庫支出金										
	県債										
	その他(繰入金等)	4,390	833	12,160	2,437						
	一般財源	1,009	705	480	489						
	決算額(B)	5,322	1,474	11,550							
概算人員数(人)	5.00	4.00	4.00	4.00							
概算人件費(C)	41,585	33,032	33,032	33,032							
概算事業費(B(A)+C)	46,907	34,506	44,582	35,958							

目標に対する成果の状況	・レジ袋削減に向けて、より効果的な手法を検討するため協議会を設立し協議を開始した。また、マイバッグ持参キャンペーン等啓発活動も行き、目標を達成することが出来た。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・レジ袋削減事業は、より効果的な手法を引き続き関係機関と協議するなど、県民総参加による運動を通じて排出抑制(リデュース)へのきっかけづくりとする。また、新たに、食品廃棄物をリサイクルする事業の構築を検討し、更に廃棄物排出量の減少に努める。